

### あさひ日本語ひろばに参加して

#### ボランティア 高木 峰子

「風邪気味だけど、どうしても来なくて」  
「試験勉強で眠ったけど早起きして来たよ」  
土曜日の朝、学習者の皆さんは頑張って“ひろば”に集います、日本語を一つでも多く憶えたい一心で。  
私達は私達でどうしたら解り易く説明が出来るだろうと頭を突き合わせての1時間半です。「はい、解りました」って言葉が出たときはお互いにニッコリ、そうそうこの笑顔、私達へのご褒美。  
姿が見えない日には「どうしたのかな、体調がわるいのかな」といつしか我が子を気遣うような気持ち。  
これからも焦らず、ゆっくり、ゆっくり、日本語増やしていきましょうね。

#### ボランティア 神庭 恭子

日本語ひろばのボランティアに参加して1年半になります。  
日本に来て、3ヵ月という少年と話をするようになりましたが、なんと彼は、日本のアニメや、若い歌手の歌をくり返しくり返し聞いて、かなりの日本語が話せるようになっていました。先に来日して、中学校に通っていた弟さんの協力もあったのですが、びっくり!  
また、スマホを活用して、ノートにひらがなで歌詞をきれいに書いていました。そして、今は、むずかしい漢字にも挑戦しています。  
これからも、少しでもお手伝いできたらと思います。  
春から、しばらく母国に帰るそうですが、日本語をわすれないでくださいね。  
また、ボランティアをはじめた頃は、色々な国の方々とお会いする時に腰が引けていましたが、今はちょっと笑顔でお迎えできるようになりました。

#### ボランティア 寿山真理子

私は今年度からあさひ日本語ひろばにボランティアとして参加させていただいています。  
初めは緊張しましたが、とてもアットホームな雰囲気、いつも和やかに活動しています。  
ここは日本語の会話を中心なので、学習者さんの日本語レベルによっては、時々路頭に迷ってしまう事もあります。しかし一緒に辞書をひきながらコミュニケーションを成立させていけた時は、とても晴れやかな気持ちになれます。  
夏頃から参加されている学習者さんは、初めの頃あまり会話がスムーズに運ばなくて、日常会話の言葉が少ない方でした。  
しかし、このひろばで、たくさんの人と会話して、楽しく日本語を習得したいという目的で熱心に通われていました。すると、今ではもうほとんど会話に窮することなく、初めに比べると表情もとても柔らかくなってこられました。  
「日本語をおぼえなくては」というガチガチの教室ではなく、日本の伝統行事を学んだり一緒に料理をしたり、共に活動することを通して、自然に日本語を習得していくという学習スタイルがこのひろばの温かい雰囲気を生み出しているんだろうと思います。  
様々なニーズに答えていくことはなかなか難しいですが、これからも学習者の方々が無難に参加して楽しんでもらえるような活動をしていきたいです。

#### ボランティア 森 憲子

月3回のひろばを楽しみに、今日は「〇〇さん達来られるかねー」と、話しながら出かけています。  
ひろばに参加して、色々な国の学習者さんと仲良くなり、時々町で出会い、「ハイ!!」と手をあげて会話もしています。  
日本の事を教えてあげたり、学習者さんの国のお話しが聞けたりして楽しいひろばになっています。  
そしてもう一つ、よかったなあと思うのは、中学生の学習者さんが、言葉を覚えて学校の友達と仲良く遊び、遊べる様になったことです。ひろばに時々しか来てくれなくなり、その結果あまり会えなくなって淋しい反面、嬉しい事でもあるのです。  
こうして、又一年楽しくひろばに参加出来たのも、ボランティアさん達とも仲良く出来たからでしょうね!  
来年度も頑張るぞー!!  
2013.2.9

# あさひ日本語ひろばだより

No.2

平成25年3月

TEL 21-3432 FAX 21-3717 E-mail: asahi-ph@mable.ne.jp

「あさひ日本語ひろば」がスタートして2年目が終わろうとしています。  
今やボランティアさんも学習者さんもほっとする大切な場所になっています。  
まるでみんなが1つの大家族のようです。ここはいつでもだれでも参加OKです。  
どうぞ、きらくにふらっとお出かけください。きっと新しい出会いが待っています。

年間活動	月3回土曜日10:00~11:30	36回開催
4月 7日	お花見	
6月 16日	ちまきづくり	
7月 7日	七夕	
8月 4日	朝日まつりに参加	
9月	松江水燈路に参加(灯づくり)	
10月 6日	書道体験	
10月27-28日	朝日文化祭に参加	
11月 11日	呉日本語教室との交流会	
11月 17日	お好み焼きづくり	
12月 9日	交流そばうち体験	
12月 22日	ケーキづくりパーティー	
2月 2日	節分	
2月 23日	中国料理	
3月 3日	まがたまツアー	



## あさひ日本語ひろば

### 参加者募集

どなたでも、いつからでも参加できます  
朝日公民館で外国人のための日本語教室を開催しています。地域の皆様のお知り合いで、参加希望の方がいらっしゃいましたら、朝日公民館までお知らせください。  
(TEL21-3432) 年齢は問いません。  
朝日地区以外の方でも参加できます。

### ボランティア募集

- とき** 毎月3回程度  
土曜日(午前10:00~11:30)  
(外出、調理実習のときなどは、時間変更する場合があります。)
  - 会場** 朝日公民館  
(移動教室の時もあります。)
  - 活動** 外国人のための会話中心の日本語指導  
(外国語ができなくても大丈夫です。日本語で、日本語を教えます。)
- そのほか、さまざまなかたちでのちょこっとボランティアさんもお待ちしています。  
学習者の子どもの託児や調理実習の補助など

問い合わせ・申込先 朝日公民館 TEL: (0852) 21-3432



# 日本の文化を学びながら、楽しく日本語を学びます

## 書道体験

ボランティア 松本 淑子

日本文化を学ぶ一環として習字の講座が開かれました。日本の生徒も日常筆を持たなくなった昨今、外国の学習者さんが上手にできるのかしらと不安でしたが、永井先生のご指導で筆の持ち方・墨のつけ方を教わり、基本の線や点の練習をしました。次に好きな漢字を書こうということで、自分の思い描くお気に入りの漢字一字を選び(絆とか雨)一人一人がお手本を書いてもらいました。何枚も練習するうちに上達しましたがその熱心さに感動しました。作品をご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、なかなかの出来栄でした。学習者それぞれがそ

の漢字を選んだ理由を日本語で書いているのを見ると「本当に日本に、日本語に馴染んで来たね」と声をかけたくなりました。



## そば打ち体験

学習者 有田ベンジャミン (フィリピン) Benjamin Arita

その時私は初めて雪を見ました。ほんとうにびっくりそして私のきもちほんとうに嬉しい。  
つぎはそば道場に行ってみんなでそばをつくりました。  
はじめにそば粉に水をいれてこねました。  
つぎはそばを包丁できりました。  
そばはもってかえり大きいなべでゆがきました。  
私のそばはうどんみたい。でもおいしいです。いじょうです。ありがとうございます。



## そばつくり感想

学習者 オウ 王 智勇 (中国)

朝日公民館の皆さんと出会って、もう3ヶ月経ちました。こちらでいろいろな日本生活の話をしたり、日本文化の話をしていました。一番心に銘記なのは去年12月に山陰でそばつくりの経験しました。そばは日本の食卓でよく見られる食べ物で、日本の食文化の1つです。そばは山陰の名物だそうです。山陰そばつくりは一般の人がなかなか体験できないので、外国人の私はこういう体験をさせて頂き、感謝しております。そば職人は私に「から、そばの作り方を教えてくれて、最後に自分が作ったそばを食べて、美味しかったです。中国でもそばをよく食べますが、中国で私はそばを作ったことがまだないです。日本でそばつくりを体験して、日本の皆さんに感謝します。



## 節分、豆まき

ボランティア 松本 成

あさひ日本語ひろばでは「ミニ節分祭」をしました。参加者は日本語学習者、ボランティアと各々の子供や孫たちで総勢18名。

まず日本の鬼を知ってもらうため童話「桃太郎」を、次に「節分と豆まき」の読み聞かせ。続いて節分と豆まきのいわれや、病気、邪気を追い払い幸福を願う行事であることの説明をして、気分が乗ったところで学習者と子供たちで鬼の面作り。そして、いよいよ豆まきの始まりです。「鬼は外」。最初は怖がっていた子供たちもいっばい豆を投げ、圧倒的な強さで鬼を追い出し、鬼は散々な目に。

後は皆で賑やかに福豆や豆菓子を取り、今に残る



伝統行事を体験して楽しい一時を過ごしました。今年はきっと皆んなにとって良い年になるでしょう。

## 節分

学習者 有田ヴィンス (フィリピン)

2月2日外国人と日本語のボランティアがいっしょに朝日公民館で節分の行事をしました。ももたろうと節分の話の話を聞きました。鬼の面作りをしました。外国人と日本人の子どもたちがみんなで作りしました。鬼の顔を切ってそれに色をぬって作りしました。わたしは赤い鬼を作りしました。その鬼は二本の角と牙がある鬼でした。ほかの人の鬼はいろいろな色の鬼でした。大人の男が鬼になりました。わたしも鬼になりました。ほかの人は豆をまく役になりました。みんなは鬼にむかって「鬼は外、福は内」と言って豆を鬼になげつけました。この豆まきの行事は日本に来てはじめてでした。フィリピンには豆まきはありません。とてもめずらしくてたのしかったです。わたしの中には「人の前ではずかしくなる鬼」がいるので今年はおしたいです。



## 「わくわく、どきどき、交流会」(実践発表交流会 in 松江)

昨年、11月11日、「あさひ日本語ひろば」と広島県呉市にある「日本語教室(呉)」そして松江市内の「日本語ボランティアグループ“だんだん”」との交流会が、朝日公民館で

開かれました。参加者は、中国、ベトナム、カナダ、アメリカ、オーストラリア、アイルランド、フィリピン、ナイジェリアの8カ国、18人の学習者さんと、日本語ボランティア(以後、ボランティア)23人の総勢41名でした。



「ひろば」からは、小学生から大人まで2カ国(ナイジェリア・フィリピン)7人が、みんなで作った水燈籠のことや好きな漢字一文字を習字で書いたことなど、心に残った楽しい活動やエピソードなどを発表しました。発表が始まると、私たちボランティアもドキドキしながら見守っていましたが、みんな落ち着いて笑顔で発表することができました。発表を終えたみなさんの顔は、本当に満足そうで、嬉しい気持ちになりました。

ボランティア 宮川 澄子(しまね子ども日本語教育会 代表)

あさひ日本語ひろばには、中国、韓国、フィリピン、ナイジェリアの仲間が3回集います。大東町や東出雲からもやって来られます。学習者が主体になり本人の興味のある事伝えたい事を朝日公民館のボランティアの皆で話し合い楽しく勉強しています。

11月には呉市より日本語教室の学習者、ボランティアの方が来られ朝日ひろばの皆様と交流会を開きました。それぞれ学習者の方が日本語で発表されました。参加者は松江の伝承のポテポテ茶体験をして、珍しいお点前で喜んで頂きました。

ひろばの活動が仲間づくり、人づくり、町づくりにつなげたいと思います。

ボランティア 吉岡 篤枝

